

TA様、本契約ありがとうございます！



今月、正式に野口町で家を建てさせて頂くTA様と本契約を交わさせて頂きました。TA様、当社を信用して頂き心より感謝致します。

TA様とは平成24年12月13日にホームページから資料請求をして下さり、その後事務所へ訪問して頂いて土地からと言う事で

ご依頼を頂いておりました。選ばれた土地が先に売れてしまったり、土地の売主側の事情でお話が流れてしまったりと色々とも問題もございましたが

土地もご縁と言う事でTA様の寛大なお心の中、野口町の開発工事中の土地に決定され、プランとお見積もりをさせて頂き、当社との本契約を

交わさせて頂きました。2年以上という月日が流れて行きましたが、こうしてこの日が迎えられたこと、本当に嬉しく思います。土地の造成工事は

着々と進んでおりますが、土地造成工事完了迄にはまだまだ時間が掛かりそうですので、じっくりと内容をTA様と共に煮詰めて行ければと

思います。家は一生でそう何度も建てられるものではありませんので、後悔の無いようにして頂く為に私も精一杯努力させて頂きますので

TA様、今後共よろしく願い致します。そして工事の状況はブログにてご報告させて頂きます。せっかくお家を建てるのにその状況が

見る事が出来ないのはもったいないと言う事で、お仕事で見に行く事が出来ない日も見て頂く事が出来るように

現場の状況をお伝えさせて頂きます。私は早く家を建てたくてウズウズしておりますが、こればかりは土地の

造成工事が完成してからと言う事でこれからが楽しみです。スマホやパソコンでチェックして下さいね♪\(^o^)/



SK
加古川
通信

第86号
平成26年3月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

御用聞きのひとりごと・・・カンボジア支援活動へ・・・



今年も4月9日より本社の大西会長と共にカンボジアの支援活動に行かせて頂きます。こうして活動させて頂けるのも会社やお客様や業者さんや仲間のお蔭と本当に心より感謝しています。そして、ご理解ご支援ご協力して下さいの皆様のお蔭と本当に心から感謝しています。今回のプロジェクトはNPO法人アジア子供輝基金として、カンボジアのバタンバンにある孤児院SKOの運営資金を賄う為に日本の企業様から頂いた古着などを売るショップをオープンさせる事と豚を飼育する為の小屋を作ります。現在、古着はコンテナで船に積まれて海の上をカンボジアに向けて航海中です。輸送費はなんと・・・税関を通しカンボジアに輸入するのに約100万円かかります・・・びっくりですが、採算が取れるようにしなくてはなりません。そしてさらに豚小屋ですが、あまりお金を掛けられないので自分達で作ります。当然、子供達にも手伝ってもらいます。小屋は上手に出来なくても豚が飼育出来るようになり、子供達の学校の授業料や食事代になれば良いのです。SKO孤児院の自立を目指し突き進むのみです。負の連鎖はいつか止めなければなりません、親の愛情に恵まれなかったから、虐待にあって保護されたから、親に捨てられたから、かわいそう・・・では将来、募金や支援金に頼ったままの人生を送るのか・・・私達もいつまでも生きてはいません、今は心優しい皆様に頼らなければ難しい状況ではありますが、孤児院にいる子供達もいつかは自立して立派な社会人として巣立たなければなりません。その為には、今のうちから生きて行く力を養って行かないといけません。勉強も大切ですが、自分達の手で人に頼るのではなく、生きて行ける人間になって欲しい・・・そして幸せになって欲しい、孤児院の運営もいつか自分達の力で運営出来るようになって欲しいと言う事で自立支援のスタートです。私自身も決して裕福に育って来た訳ではありませんが、この現在の日本に産んでもらえた事だけで親には感謝しております。カンボジアでは物価も例えば人の命の重さまで違ってきます。仮に交通事故でカンボジア人が亡くなっても保証は300ドル(約30万円)です。日本では考えられないですが、そんな現実もあります。給料の平均も80ドル前後です。物価が安いからと言って決して裕福ではありません。仕事があっても田舎に行けば無いのも現状です。これから先は韓国や中国があんな状態ですので日本企業が流れて来る可能性も無いとは言えないですが、インフラ整備やライフラインもままならないのが現状です・・・無ければ「創るしかない」のです。と言う事で、このプロジェクトは進めて参ります。そしてバックの写真を記載しておりますが、ノリア職業訓練学校「NVTC」で試験的に作られています。この施設も孤児や貧困から学校へ行けなかった女性に縫製技術を身に付けて自立を支援する施設なのですが、運営自体がうまく行っていません。縫製技術はかなりのものなのですが、仕事がありません。そこで輝基金の理事である石垣島でTシャツショップを運営している米盛氏が依頼してバックや小物を作り、米盛氏のショップで売り、利益を還元し、一部をカンボジアの恵まれない子供達に寄付すると言う事になりました。バックの写真はカンボジアの友達からFBで送ってもらいました。とりあえず50個作られています。評判が良ければ継続して行けるのではと思います。ノリア職業訓練学校については、過去の私のブログを見て頂ければお解り頂けると思います。年々大きく成長しているSKOの子供達・・・出会って9年目、その当初からいる子供、途中でいなくなった子供、新しく入って来た子供、みんなそれぞれに辛い経験を持ちながらもお互いに助け合って生きています。私の出来る事なんて、たかがしれていますが、それでも何かしたい、してあげたいのです。今回の活動は古着のリサイクルショップの立ち上げと豚小屋造りがメインとなります。出来る限りの事はして来ます。お客様にもご迷惑が掛からぬよう最善の準備を整えた上で行って来ますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。25日には元気に戻って来ますのでご安心下さい。また、カンボジアでの活動内容は日本に戻り次第、カンボジア日記としてご報告させて頂きます。本当にこうして毎年カンボジアの支援活動に行かせて頂けるのは、ご理解・ご支援・ご協力頂ける皆様のお蔭です。本当に心より感謝しています。お仕事がある事に感謝、健康である事に感謝、ご飯が食べられる事に感謝、生かされている事に感謝、そして・・・お仕事や支援活動を通じ、人様に必要として頂ける事に感謝して・・・

